

考動・躍動・感動

気持ちを切り替え、授業を大切に！

「文化祭・体育祭と楽しい行事が続きましたが、それらが終わった今、しっかりと切り替えができていますか？」

今週の子どもの様子を見てみると、

- 生活全般において、少し落ち着きに欠けている人
- 服装が少し乱れている人
- 授業時間、集中力が持続しない人
- 当番活動に責任をもって取り組めない人

が少し目につきました。先週までの楽しい行事・慌ただしい生活から、うまく切り替えができていない人がいるように感じます。楽しかったことは楽しかったこととして心に残し、次に向けてしっかりと切り替えをし、日々の生活を過ごしていくことが大切です。一番近くでは、来週に中間テストがあります。まずは授業を大切にしましょう。そのためには授業の初めが肝心です。『2分前入室、1分前着席』を今一度心がけ、落ち着いた状態で授業に臨みましょう。気持ちの切り替えがうまくできる人、ONとOFFの使い分けが上手にできる人を目指しましょう。



【みんなの成長した姿】

- ・結果だけではなく、それまでの過程の大切さに気づいた人もいました。
- ・みんなで協力すること・みんなを楽しむことの素晴らしさを感じた人もいました。
- ・仲間の温かさ・優しさを身をもって実感した人もいました。

みんなの感想を読んで、強く感じたことです。

『行事を通して成長してほしい！』

『行事を通してクラスの絆を深めてほしい。』

先生たちが抱く願いに、みんなは十分に答えてくれました。教員という職業に就き、日々の仕事をする中でも、格別にうれしい瞬間です。次の合唱祭に向けて、これからの様々な活動をする中で、みんなの成長する姿にたくさん出会いたいと思います。



【来週の主な予定】

16日(水)：5時間授業

17日(木)：中間テスト

①英語

②理科

③国語

18日(金)：中間テスト

①社会

②数学

③クリーン作戦(3限)



体育祭を終えて～みんなの感想②～

私は体育祭の練習をする中で、バラバラだったクラスが少しずつまとまっていくのが分かりました。練習では全然跳べなかった大縄も、当日にたくさん跳べたのは、クラスのみんなが本気になって頑張ったからだと思います。体育祭でこんなにクラスが変わるんだなと思いました。

(A組 倉田実咲)

僕は初めての体育祭を終えて、学んだことは、力を合わせればとても大きな力になるということです。僕たちのクラスは初めて大縄を跳んだ時は数回しかできませんでしたが、最後18回できるようになりました。このことを次につなげたいです。

(B組 山形 祐介)

綱引きは一回戦で負けたけど楽しかったです。多人数リレーは緊張したけど、頑張って走りました。玉入れは難しく、玉が全然入りませんでした。優勝できなかったけど、とても楽しかったです。

(A組 稲熊佑一)

体育祭をやった感じたことは、クラスの団結がすごいと思いました。自分が出ていない競技でも応援してくれて、自分がリレーで走っている時はすごく気持ちよく競技に挑めました。来年がまた楽しみです。

(D組 森本難多)

初めての体育祭ですごく緊張しました。でも、みんなの応援・頑張りがあったからこそ楽しくできたと思います。C組の点数は85点で最下位だったけど、賞状は4枚もらったし、大縄では15回跳べたし、10人11脚では1位だったので気持ちは1位です。C組にも、“絆”が少しは生まれたと思います。(C組 竹田咲菜)



僕は初めての体育祭をやってみて、個人種目よりも団体種目の方がおもしろいし、大切だと感じました。特にみんなが力を合わせて頑張らないといけない大縄跳びが楽しかったし、一番になれたのでうれしかったです。1位と1点差なので、「大縄をもう少し跳べば・・・」とか、「リレーであと一人抜いていけば・・・」など悔しいけど、最高の体育祭でした。

(F組 丹生健太)



今回は中学生になって初めての体育祭で、僕たちのクラスは大縄跳びが一番充実していました。なぜなら何回も練習しても1回・2回しか跳べなかったクラスが、本番で11回も跳ぶことができたからです。今回の体育祭で学んだことは、僕は最後まで諦めなければ絶対良い結果がついてくるということです。来年、そして再来年の体育祭も諦めずに練習に取り組みたいです。

(E組 町野輝弥)

当日、綱引きのかけ声を決めることにしました。かけ声は、あるクラスメイトの名前になりました。1回戦・準決勝・決勝と戦っていくうちに、かけ声が大きくなっていきました。優勝した時、クラスが1つになった気がしました。これからの行事でもクラスで団結して頑張っていきたいです。(H組 児玉隆)

体育祭の練習初めてということもあり、楽しいだけの練習にはならず、もめたり先生に注意されたりもしました。特になわとびや多人数リレーは、人数が多いのでなかなかまとまらず、練習が満足にできない時もありました。本番は練習よりもまとまることができました。まとまって何かをやると、みんなが笑顔になれると実感できたのでうれしかったです。(G組 加藤梨菜)

